

STUDENT'S EYES

杜若高等学校 松永 大和

スペシャルオリンピックス愛知

超える喜び。

2018年9月22日～24日

SOを多くの人に知ってもらいたい



小塚 崇彦さん

「一丸となって出来る超える喜びを感じたい。」



森 理世さん

「アスリートの思いを代弁出来て、夢を応援できるパワーの源になりたい。」



SO日本理事長の有森裕子さん

「私も学生の頃、信じて（応援）くれる人がいたから頑張れた、応援をすればお互いに笑顔になる。」またSOアスリートについて、「もっと興味をもってもらうことが大切。」と語った。

安藤 美姫さん

「超える喜びをアスリート、スタッフ、ボランティア、審判そして観客と感じたい。」



室伏 由佳さん

「参加してくださる皆さんの力で選手はもっと躍進できるのではないかな。」



名称は「スペシャルオリンピックス」

複数形で表されているのは、大会に限らず、様々な活動が年間を通じて世界中で行われていることを意味している。

Special
Olympics
Nippon



【取材をして】

実際の現場に立ち、「記者」となって発信者、読者の在り方について改めて考えさせられました。

上手く伝えられたから正解ではなく、この新聞を通して皆さんに1つのきっかけを与えることができれば、そして自分自身深く考えていけたらと思います。

カウントダウンボードを地元高校生が制作



名古屋市立工芸高校生徒

「この学校でしか出来ないことをやりたくて参加した。今までで一番自信のあるものになった。」



※本紙掲載写真は、2018年8月14日
愛知県名古屋市 ミッドランドスクエア で

